

平成28年度新規重点研究課題の評価結果

研究課題名	研究本部	研究期間	研究評価委員会					総合評価	
			項目別評価					評価	意見
			緊急性	連携等	内容	計画	活用性		
①現地牛群データに基づく乳牛の周産期疾病低減を目指した乾乳期飼養管理法の体系化	農業	H28-30	a	b	b	b	b	B	研究の重要性、緊急性は高い。データの信頼性に十分注意した上で適切な手法で解析を行い、汎用的に普及しうる飼養管理システムの開発を進めること。
②日本海海域における漁港静穏域二枚貝養殖技術の開発と事業展開の最適化に関する研究	水産	H28-31	b	b	b	c	b	B	研究計画を再検討した上で、養殖技術の実用化、事業化を目指し、他の研究事業とも連携して日本海沿岸域の振興に貢献できるよう研究を進めること。
③苗木需要量の増加に対応したコンテナ苗生産・植栽システムの開発	森林	H28-30	b	b	b	b	b	B	北海道の林業にとって重要な課題である。軽労化を含め、播種から苗生産、移植までの一体化したシステムを、他地域でも利用できる技術として開発すること。
④防腐薬剤処理木材を使った道路構造物の予防保全に関する研究	森林	H28-30	b	b	c	b	b	B	地域の林産業の活性化のためにも、木質構造物の普及は重要な課題である。寿命予測を適切に行うとともに、防腐処理等を予防保全に生かすことができるよう技術開発を速やかに進めること。
⑤金属3D造形による実用金型製造のための加工・熱処理プロセス技術の開発	産業	H28-30	b	b	b	b	b	B	道外企業等との競争が予想されることから、緊急に進めるべき課題である。技術的優位性を生かし、コストと品質に関する課題を解決して、速やかに金型製造技術の開発と技術移転を進めること。
⑥ヒグマ保護管理計画における進捗状況の評価指標としての問題個体数推定法の確立	環境	H28-30	b	b	c	c	b	C	北海道特有の重要な課題である。保護管理計画におけるあつれき対策に活用する技術として提供できるよう研究内容及び計画を再検討すること。
⑦森里川をつなぐ栄養塩動態予測ツールの開発	環境	H28-30	b	b	b	b	c	C	研究の方向性が明確ではない。沿岸を含めた流域全体を対象とするなど計画を見直すとともに、成果がどのように利用されるのかを具体的に示し、研究全体について再検討をすること。